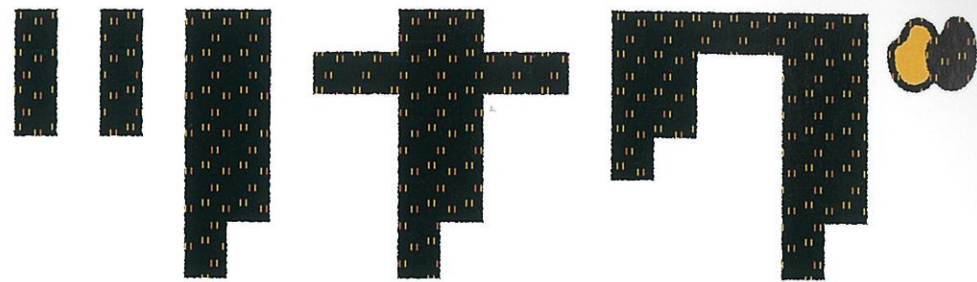


人をつなぐ・未来につなぐ さが棚田だより ボランティアはじめました!



THEME
棚田が豊かに。
ココロも豊かに。

2018 春

EVENT CALENDAR

★ 棚田イベントカレンダー ★

2.25 棚田と桜の里づくり

場所/ 蕨野の棚田(唐津市相知町)
問合せ/ 唐津市相知市民センター産業課
☎0955-53-7125

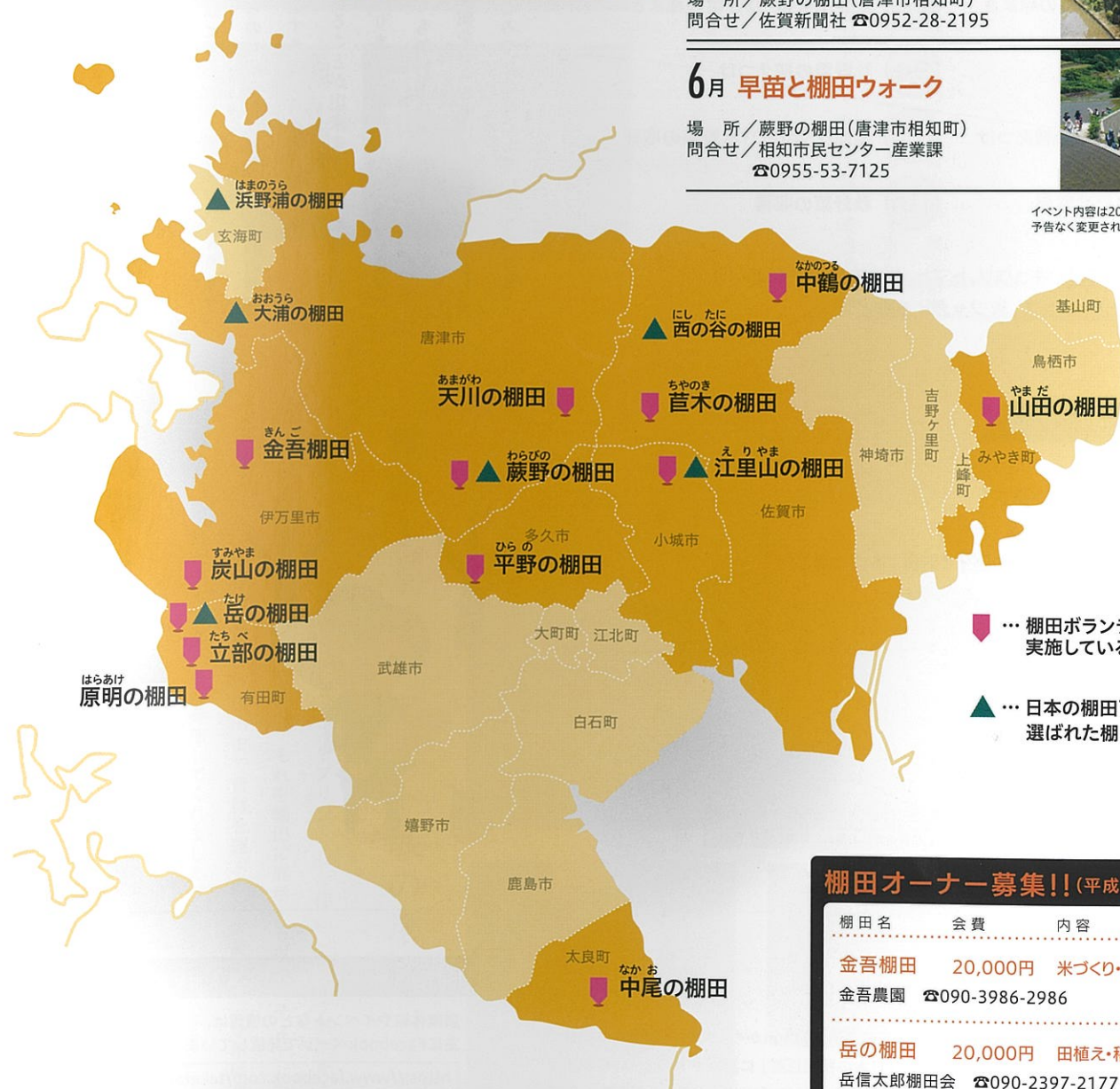
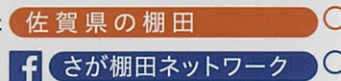


3.17 真鯛満喫ウォーク

場所/ 浜野浦の棚田周辺~海上温泉パレア(玄海町)
問合せ/ 唐津観光協会玄海オフィス
☎0955-51-3007



佐賀県の棚田イベントなど詳しくは



イベント内容は2018年1月時点での予定であり、予告なく変更される場合があります

… 棚田ボランティアを実施している棚田
… 日本の棚田百選に選ばれた棚田

3月▶4月 (開花時期) ジラcons桜写真コンテスト

場所/ 武雄市若木町川内区
問合せ/ 若木公民館 ☎0954-26-2004



4月 天川しゃくなげ祭り

場所/ 旧天山発電所展示館広場(唐津市厳木町)
問合せ/ 天川しゃくなげまつり実行委員会
☎090-1870-1709



5月 肥前町ウォーキング

場所/ 入野棚田周辺(唐津市肥前町)
問合せ/ 唐津市肥前市民センター産業課内肥前町棚田ウォーク実行委員会事務局 ☎0955-53-7145



6月 アクアソーシャルフェス 田植え

場所/ 蕨野の棚田(唐津市相知町)
問合せ/ 佐賀新聞社 ☎0952-28-2195



6月 早苗と棚田ウォーク

場所/ 蕨野の棚田(唐津市相知町)
問合せ/ 相知市民センター産業課
☎0955-53-7125



棚田オーナー募集!! (平成30年度)

棚田名	会費	内容	特典
金吾棚田 金吾農園 ☎090-3986-2986	20,000円	米づくり・農業体験	米60kg、野菜づくり体験 など
岳の棚田 岳信太郎棚田会 ☎090-2397-2177	20,000円	田植え・稲刈り	米30kg、地元特産物
炭山の棚田 すみやま棚田守る会 ☎090-3661-3853	20,000円	田植え・稲刈り	玄米30kg、稲刈りすみやま、楽農体験 など

佐賀県 農林水産部 農山漁村課

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59 TEL0952-25-7124 FAX0952-25-7284
✉nousangyoson@pref.saga.lg.jp



人をつなぐ・未来につなぐ
さが棚田だより
ボランティアはじめました！

11月

春
2018

contents — 目次 —

- 03 菅木の棚田 × 佐賀県農業土木振興会
- 04 菅木の棚田 × 技術開発コンサルタント
- 05 菅木の棚田 × ドコモCS九州佐賀支店
- 06 蕨野の棚田 × グリーンコープ生活協同組合さが
- 07 蕨野の棚田 × トップコンサルタント
- 08 金吾棚田 × 和糍
- 09 江里山の棚田 × ひらまつ病院
- 10 棚田ボランティア団体の募集
- 11-12 ふるさと水と土指導員
- 13-14 特集 岳の棚田



日本の原風景を今に残す棚田。

佐賀県にも、日本の棚田百選に選ばれた6地区をはじめ、

多くの棚田が人々の手により、守り受け継がれています。

秋の収穫時期、風にそよぐ稲穂が生き物のようになり、

ところどころに咲いた彼岸花がステキな色を添えます。

棚田という宝物を次の世代へ「つなぐ」こと。

私たちはその宝物を後世に伝えていかななくてはならないのです。

江里山の棚田(小城市)

棚田のある環境を守っていききたい 元県職員たちの地域に対する思い

ちやのき
菅木の棚田 × 佐賀県農業土木振興会

県内の農業土木の仕事に携わってきた元県職員らで構成する、佐賀県農業土木振興会。「仕事として携わってきた「県内の環境保全」に貢献したい」とボランティア参加を決められました。

佐賀市富士町菅木地区は、名湯で知られる古湯温泉から車で5分ほどの場所。この山間にある小さな集落には約150枚の棚田が点在し、憩いの公園も整備されています。棚田では米やワタを栽培し、棚田をPRする



体験イベントも行われています。この日の作業は、地区内の除草作業。参加した方々は草刈り機で下草を刈る人、鎌を手に木に巻き付いたツルや枯れ枝を払う人、ほうきで草を集める人に分かれ、手際よく作業を進められます。

普段から農業用ダムなどで清掃や除草作業を行っているため、皆さん手慣れた様子。生い茂っていた雑草がみるみるうちに取り払われ、道路沿いの公園に植樹されているイチヨウや桜などの木々がイキキと姿を現しました。

県内の圃場整備をはじめ、水源かん養や洪水防止の施設などを手掛けたメンバーたち。「今日のような作業も間接的に棚田保全につながるし、人手不足を補う力になれたらうれしい」と環境保全に貢献できる喜びを語っておられました。

農業のボランティアを通して 手間をかける本当の意味を知る

ちやのき
菅木の棚田 × 技術開発コンサルタント

佐賀市富士町菅木地区では、広がる休耕田を活用するためにワタの栽培が行っています。

株式会社技術開発コンサルタントは、福岡市博多区に本社を構える会社で、佐賀県内においても農業土木や道路設計、環境調査などの仕事をされています。春に行われた種まきなどの作業に続いて、今回は5名で収穫作業に参加されました。



春に種まきを行ったワタは、夏の間には花が咲き果実が実ります。10月になると乾燥した果実が割れ、中からやわらかなわたが顔を出します。収穫作業では、この「わた」を丁寧につまみ集めていきます。また、まだ割れていない果実は、株ごとビニールハウスに取り込み、余分な枝や葉を落として乾燥させます。

「昔の人々はワタを育て、紡ぎ、織る、という作業を行い綿の服を着ていたと思いますが、布団を作るときなど途方もない量のワタが必要なることを考えると気が遠くなる思いですね」と代表の木原さん。前回の種まきから時間をへて、しっかり育ったワタを見ながら感慨深く語っておられました。

株式会社技術開発コンサルタント

福岡市博多区上呉服町12番8号
☎092-271-2518

- 事業内容
建設コンサルタント業、農業土木、道路設計、環境調査、測量、地質調査など

TANADA Lovers' Voice

衣食のための作業で昔の人びとは学び、繋がっていたと実感しました。

今年(平成29年)は北部九州豪雨で甚大な被害があった年でした。私たちの会社は被害調査や査定などで忙しく、ボランティアに参加できる人員も限られていましたが、自分の意思で参加してくれた社員に感謝しています。



技術開発コンサルタント
代表取締役 木原泰信さん

TANADA Voice ▲ 棚田の声

あいにくの雨でしたが、ビニールハウスの中で作業を行いました。今回、手伝ってくれた方々に感謝しています。
菅木地区代表 水田浩治さん



上/ワタの枝には白くフワフワした繊維のわたが育ち、それを収穫していきます。
右下/ワタの種まきの様子。
左下/今回は珍しい体験ができました!

佐賀県農業土木振興会

- 事業内容
建設コンサルタントの技術向上・情報交換・地域貢献事業の発展などに寄与すること

TANADA Lovers' Voice

スキルを生かして地域のために。
退職後の日々も充実

私たちがスキルを生かせる棚田ボランティア。地域への恩返しになればと思っています。現職時代の仲間と集まって、共に汗を流す喜びは格別です。技術の保持や向上を目指す意義もあり、「生きがい」とも言えます。



佐賀県農業土木振興会
会長 原憲義さん

TANADA Voice ▲ 棚田の声

2度目の作業でしたが、今回も草刈りをやっていただいで助かります。慣れた方たちばかりで安心して作業できました。
菅木地区代表 水田浩治さん



上/テキパキした作業で雑草を刈っていきます
右下/水路に生える雑草の除去は公園の美観を保つだけでなく、水の流が妨げられるのを防ぐ
左下/暑い中お疲れさまでした!

頑張った思い出はスマホで送信! 11月でも電波は届いていました

ちやのま
菅木の棚田 × ドコモCS九州佐賀支店

農業従事世帯はわずか5軒。高齢化で棚田の維持に頭を悩ませているという菅木地区をサポートしようと、同支店はボランティア事業に手を挙げられました。地元の方と交流も生まれました。

同地区でのボランティア参加企業の(株)朝日テクノや(株)技術開発コンサルタ、ワタの栽培を手伝う一般ボランティア、休耕地を借りて耕作をする佐賀大学生などと作業を通して関わり、仕事以外の場面で人とつながる楽しさも実感。



6月初旬はお茶の収穫。社員22人は新入社員には自然の中で新しい職場の仲間と打ち解ける場になったようです。なにより、中山間地での作業体験を通じて若い社員たちの仕事への向き合い方が変わったように感じているそうです。今後も、このボランティア活動を通して、少しでも地域の皆さんのお役に立てるよう取り組んでいきたいと考えています。

上/初心者だから茶葉を収穫するコツもよく分からない。地元の方に聞けば張り切ってコツを伝授! 右下/10月にはワタの収穫を行いました。左下/ほかほか陽気でみんな大満足!!



上/初めは早苗の風を受けおよそ7kmのコースを歩きました。右下/朝の受付コーナーでは、大勢の参加者が並んでいます。左下/組合員と組合のスタッフみんなで歩きました!



組合員へのチラシで呼びかけ イベント参加者の募集をサポート

わしのの
蕨野の棚田 × グリーンコープ生活協同組合さが

八幡岳(標高764m)の山すそに広がる蕨野の棚田(唐津市相知町)で、6月中旬に行われたイベント「早苗と棚田」ウォークin蕨野」。グリーンコープ生活協同組合さがは、組合員を多数抱える強みを生かし、チラシで参加を呼びかけられました。

ボランティア事業への協力を決められた理由は、組合員の方々に先人たちが

築き上げた石積み素晴らしさや、棚田と自然が調和する美しい風景を肌で感じてもらうため。また、自分たちが口にしていくお米がどんな場所までできるかを多くの人に知ってもらうことが消費者の購買意欲を喚起し、生産者や地域を支えることにつながると考えられたからだそうです。

当日、参加されたのは組合員と組合スタッフ24人。今回の棚田ウォークを通じて、普段は接することのない生産者と消費者、そして同組合スタッフが顔を合わせ、うまくつながることができたということです。

今後も、産地交流として組合員が棚田地域のイベントなどにも参加していけるようサポートしていきたいと考えています。



グリーンコープ生活協同組合さが

佐賀市鍋島2丁目4-4
☎0952-32-6230

事業内容
組合員が開発した安心・安全な食品の提供の他、福祉・生活再生事業など

TANADA Lovers' Voice

棚田ウォークは疲れましたが、美しい風景でリフレッシュできました
足には自信がりましたが、坂道が続きました。農家の大変さを垣間見た気がします。しかし、ウグイスの鳴き声や棚田を抜けるそよ風に癒やされ、何より棚田の美しい風景でリフレッシュできました。
棚田米のおにぎり最高!!
グリーンコープ生活協同組合さが 専務理事 藤瀬広樹さん

TANADA Voice ▲ 棚田の声

今年はイベント参加者が昨年より100人も増え、273人。企業の力を貸していただいたおかげと感謝しています。
蕨野地区 区長 秀嶋倉市さん



上/当日は早苗の風を受けおよそ7kmのコースを歩きました。右下/朝の受付コーナーでは、大勢の参加者が並んでいます。左下/組合員と組合のスタッフみんなで歩きました!

株式会社ドコモCS九州佐賀支店

佐賀市駅前中央1丁目8番32号 iスクエアビル
☎0952-28-3866

事業内容
携帯電話NTTドコモの営業、サービス、ネットワーク事業

TANADA Lovers' Voice

自然の中で新鮮な体験ができ、有意義な1日が過ごせたと感じます
自然の中で茶摘みをしたり、木の下でシートを広げて休憩したりという経験は新鮮でした。仕事の延長ではなく、机から離れた場所で社員同士の交流ができ、絆を深めるきっかけになったと思います。
ドコモCS九州佐賀支店 企画総務部企画総務担当課長 三隅ちはるさん

TANADA Voice ▲ 棚田の声

使われなくなった地区のお茶畑も、人が来て管理作業を手伝ってくれることで、地区の魅力として活用することができます。
菅木地区代表 水田浩治さん



美しい棚田保全に関わる喜び！ 将来を担う若手の成長に期待

藤野の棚田 × トップコンサルタント

八幡岳山麓で、石積みみの棚田を代々守る藤野地区。約700枚の棚田が広がる庄の景観に、「これだけ立派な棚田の保全活動に参加できてうれしい」と汗を拭きながら話されるボランティア参加のメンバー。

藤野地区もほかの棚田の地区と同様に高齢化が進んでいることを踏まえて、メンバーは元気で力自慢の若手を選抜。今回の活動では、標高約400mにある大平展望所周辺と休耕田の除草作業を行いました。

彼らが所属する株式会社トップコンサルタントは、道路、河川、農地整備などの土木設計や測量を行っておられます。

「社員たちには活動を通じて自社の地域貢献への取り組みを理解してもらいたい。また、地域のために働く楽しさを実感してほしい」と小野忠廣専務。「ボランティア活動は、自主性やチームワークを育て、人付き合いを学べる場。仕事だけでなく、将来の地域を担う頼もしい人材に育ってほしい」と若手社員の将来の活躍に期待を寄せられています。



ほかに同社は、藤野地区が開催するウオーキングやコンサートなどのイベント運営支援も行っていました。

棚田での地域交流を通して 消費者とつながる

金吾棚田 × 和糴

和糴は、「糴」の良さをいかに活かすかを考え、糴で様々な商品を作り出す糴のデザイナーのような会社。特に米こうじの主原材料となる米は農家の方とじっくりお話し、圃場を訪ね納得した上でしか仕入れをしないというこだわりよう。そんな同社は「水や空気は田舎でできている。守るためには山や棚田を育てていくことが大切」とする、金吾棚田のオーナーランティア事業に参加されたそうです。

6月の田植え作業には同社のスタッフや家族連れ、大学生が参加されました。当日は田んぼで足がぬかるんで動けずに尻餅をつく子どももいて、楽しい笑い声が山に響きました。10月は台風が近づくと、地元の方との稲刈り作業。11月はタマネギの苗植え、ダイコンの収穫、山の中でシイタケ取りのお手伝いもしていただきました。

一年間の活動を通して、田植え時は棚田の保水機能の高さとそれに伴う棚田の必要性、稲刈り時は作業の大変さと楽しさを実感。交流した地域の方々の思いやりからも棚田の維持・保全の必要性を感じるが多かったとのこと。

これからは消費者と生産者をつなぐ役割も果たしていかなくてはという思いを強くされたそうです。



和糴

佐賀市駅前中央一丁目8-32
☎090-1342-5011

●事業内容
生糴、糴加工品の製造・企画・販売

TANADA Lovers' Voice

自然相手の大変さ実感 消費者に伝える役割担う

農業は自然相手だということを改めて実感しました。棚田で育てた黒米を使った商品をとおして、消費者と生産者をつなぐ役割も果たしていかなくてはという思いを強くしています。これからも金吾棚田でこの黒米を育てていく予定です。



和糴 副代表 本山智子さん

TANADA Voice ▲ 棚田の声

稲刈りや草刈りなど人手がかかる作業は、来てもらうだけでも励みになります。今後も気軽に棚田に来てほしいですね。
金吾棚田 代表 吉田金吾さん



上/大勢でやれば、田植えもあっという間に終わります！ 右下/刈った稲を並べて干す作業 左下/楽しさも大変さも、いろいろ体験できる「棚田ボランティア」

株式会社トップコンサルタント

佐賀市久保泉町大字下和泉字古村2713-3
☎0952-98-3700

●事業内容
道路・河川・上下水道や農業土木の建設コンサルタント業務、測量業務、建築設計など

TANADA Lovers' Voice

次世代の子どもたちにも 伝えていきたい活動です

今回は若い社員に参加を促しました。中には子どもがいる社員もいます。今日のことを帰って子どもたちに話し、次は一緒に参加してほしいですね。私たちの仕事や自然の大切さを伝えるきっかけになると思います。



トップコンサルタント 専務 小野忠廣さん

TANADA Voice ▲ 棚田の声

地域住民だけでは人手が足りず手の行き届かない場所もある中、今回のボランティア事業は大きな助けになります。

藤野地区 区長 秀嶋倉市さん



上・右下/美しい法面を保つためには、繊細にかつ大胆に草を刈っていく...休耕田の整備も棚田の大切な作業 左下/今回は草刈り機の扱いに慣れた社員で参加しました!

何が必要か肌で感じて 地域貢献を考えるきっかけに

江里山の棚田 × ひらまつ病院

地域住民が安心して暮らせるように、里山の景色に彩りを添え、県内外から高度な医療や福祉・介護に取り組みたい。地域貢献活動の1つとして棚田ボランティアの参加を決められました。「自分たちができることから」と最初に取り組まれたのは、9月に行われた「江里山の棚田ひがな花まつり」のお手伝い。この時期、棚田のあぜ道に真っ赤な彼岸花が咲き誇り、



一方で、棚田米を運んだり、坂道を上り下りしながらチラシ配りをしたことで、高齢化が進む棚田地区の大変さを実感。「できることはお手伝いしたい」という気持ちで職員にも高まり、病院イベントと何かコラボレーションができないかとアイデアも膨らんでいるそうです。今後も棚田地区と連携した地域貢献に努めたいと考えておられます。



上/テントコーナーで江里山の棚田米を販売しました。右下/手が空いている人は棚田のマップをお客さんに配布。とても喜ばれていました。左下/棚田にみんなの元気な声が響きます。

医療法人ひらまつ病院
小城市小城町1000番地1
☎0952-72-2111

● 事業内容
医療提供、訪問診療・訪問介護事業 ほか

TANADA Lovers' Voice

赤いひがな花に彩られた棚田の美しさに感動しました
真っ赤な彼岸花に囲まれた江里山の棚田の風景は美しく感動しました。後世に残していけないですね。職員には、実際に現場に向き地域の方の普段のようすを肌で感じることで、地域のために必要なことは何かを深く考えるきっかけにしてほしいと思います。

医療法人ひらまつ病院
企画部部长 江副千鶴子さん

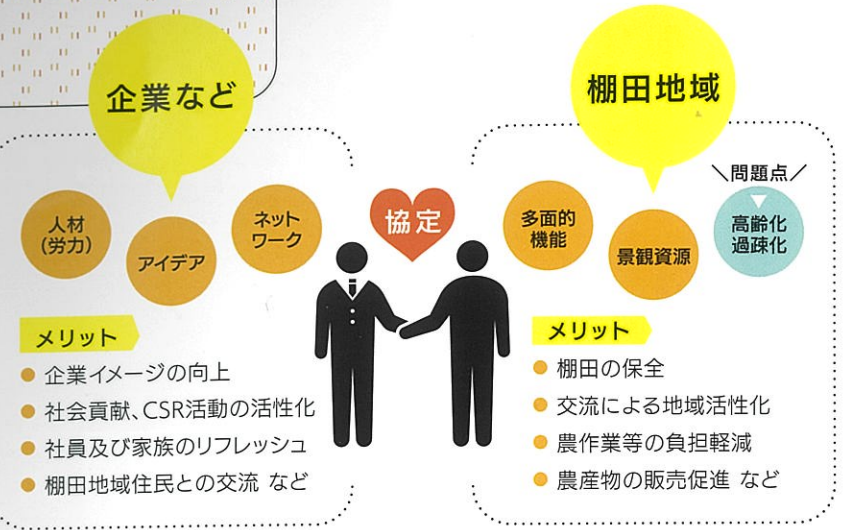
TANADA Voice ▲ 棚田の声

来場者へのチラシ配りをはじめ、たくさんの方にサポートしてもらい、にぎやかにイベントを行うことができました。感謝しています。江里山自治会 会長 江里口治亀さん

美しく豊かな棚田を未来へつなぐために

棚田ボランティアに 関心のある企業や団体などを募集しています

棚田は、豊かな自然環境や水資源の「かん養」、洪水の防止など「多面的機能」を持っています。しかし、過疎化や高齢化などにより耕作放棄地が増えるとともに、営農や棚田の保全が危ぶまれており、多面的機能が失われつつあります。そこで、企業や団体などによる棚田ボランティアを募集しています。美しく豊かな棚田を未来につなぐために、ぜひご参加ください。

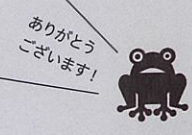


主な活動内容

- 草刈り、農作業の手伝い
 - 耕作放棄地復元作業、休耕地への景観作物植栽等の手伝い
 - 棚田オーナー制への参加
 - 棚田地域におけるイベントの共催
 - 棚田地域の自然や特産品など地域資源を生かしたビジネス提携
- ※活動については、受け入れ先(棚田地域)との調整(マッチング)を行い双方の合意の基で活動を実施していくことになります。活動を計画的かつ継続的に行うため、双方による協定書を締結します。

● お問い合わせ
佐賀県 農林水産部 農山漁村課
〒840-8570 佐賀市内1丁目1-59 TEL0952-25-7124 FAX0952-25-7284
✉nousangyoson@pref.saga.lg.jp

多くの企業から、棚田への協力をいただいています!!



No.1 日本たばこ産業株式会社(JT)九州支社 佐賀支店さま

棚田ボランティア活動に対する資材の提供を行っていただき、各地域での活動を支援していただいています。

[支援内容] 軍手(大人用) 約1,000組
軍手(子供用) 約80組
ごみ袋(30L) 約500枚
ごみ袋(12L) 約950枚

No.2 株式会社ローソンさま

棚田で開催されるイベント等のチラシを県内店舗にて配布していただいています。参加者募集期間中チラシコーナーに置いてありますので見つけてみてください。

No.3 株式会社ファミリーマートさま

棚田で開催されるイベント等のチラシを県内店舗にて配布していただいています。参加者募集期間中チラシコーナーに置いてありますので見つけてみてください。

No.4 イオン九州株式会社さま

イオンモール佐賀大和のイベントスペースを無償提供していただき、棚田ボランティアの取り組みなどをPRさせていただきました。

[支援内容]
平成29年8月19日から20日「さが棚田フェア」のためのスペース提供



topics

佐賀県ふるさと
水と土
指導員とは？

棚田や水路・ため池などの農地や農業用施設の保全を目的とした地域住民活動を推進し、指導・助言などを行う地域リーダーです。市町長の推薦により、県内で32名の方々を認定しています。
(平成29年9月現在)



自然や人、自分を
大事にする子どもたちに

農業水利施設見学

佐賀市および白石町

「自然の恵みで作られた稲や米を無駄なく活用することで、自然への畏敬の念や感謝の気持ちが生まれる」と、上野さん。種まき、代掻き、田植え、生きもの調査、稲刈り、しめ縄づくり、餅つき会など、有明南小学校の5年生に1年を通して指導。鋤など昔の農機具も使いながら、農業や食の大切さを伝えていきます。

10月には、上野さんと同小5年生19人は、田んぼの水がどこからやって来るかを知るため、佐賀市の「さが水ものがたり館」や取水施設「川上頭首工」、「嘉瀬川ダム」や取水施設「白石平野揚水機場」などを探検。「さが水ものがたり館」では、石井樋について学習し、約400年前、成富兵庫茂安が作った仕組みが佐賀平野に水を届け、水害から守ってきたことを学びました。川上頭首工で上野さんは「遠く離れたこの場所から有明町まで水が流れていく



んだよ」と子どもたちに語りかけます。「今は何も分からないかもしれない。でも、一握りでも何かを感じてくれる子どもがいれば」とし、子どもたちが将来、ふるさとを語ることで人とのつながりができることを願っています。また「体験を通して、周りのおかげで自分があることに気付けば、自分を大切にすることが生まれ、どんなことがあっても乗り越えてくれる力になる」と、子どもたちの将来を見据えながら、指導員を続けていきます。

子どもたちの
ふるさとづくりのために

稲刈り体験

鳥栖市弥生が丘地区

佐田さんは、鳥栖市弥生が丘地区に住む親子を対象に田植えや稲刈り体験などの指導を行っています。

天候の影響で何度も順延された稲刈りは、11月中旬ようやく実施することができました。佐田さんや周辺地区を含む区長OBなど7人が、地域の親子24人と一緒に稲刈りを行いました。稲を鎌で刈り、昔の農機具「千歯」で脱穀。事前に佐田さんたちが天日干ししていた稲は、流れ作業でコンバインに投入し、脱穀作業もスムーズに終了しました。

作業が終わった田んぼはいつもの間にか遊び場に。区長OBたちが稲で編んだ縄で縄跳びをしたり、竹で組んだ天日干し用の棒を鉄棒がわりに逆上がりをしたり。子どもたちはそこにあるもので次々に遊びを見つけ、楽しんでいました。同地区は県外からの移住者が多い地域。



佐田さんは「親世代は生まれた場所にふるさとがありますが、子どもはこの町がふるさとです」とし、「だから、田植えや稲刈りなど田んぼでの体験で学び、遊んでふるさとの情景を記憶に残してほしい」と力を込めます。「体験を通して子どもたちの絆も強くなります。その記憶が『自分のふるさはここ』と心に刻まれると思います」と佐田さん。「子どもたちのふるさとを作ってあげたい」。その一心で、佐田さんは今後も取り組みを続けていきます。



佐賀県ふるさと水と土指導員

佐田 功利さん (鳥栖市)



佐賀県ふるさと水と土指導員

上野 正昭さん (武雄市)



特集 岳の棚田

岳の棚田では地元住人らが呼びかけ、人が集まり、みんなで棚田を守っています。棚田を守る活動が、人と人の輪を広げています。

ひまわりの種まき

棚田Tシャツアート展期間中に会場をひまわりでうめつくすために、展示場所となる畑にひまわりの種まきをするボランティア。子どもたちもたくさん参加してくれました。暑い真夏の作業なので、昼食は冷たい山水で流しそうめんを振る舞いました。

時期 / 平成29年8月5日
参加人数 / 約20名



棚田Tシャツアート展の準備

全国から応募いただいたデザインをプリントした作品（Tシャツ）を1枚1枚ロープに通して洗濯ばさみでとめ、それを棚田に展示するボランティア。実は展示作業よりも、あぜ道を歩いて棚田まで資材を運ぶのが大変です。今年是有田工業高校生、佐賀大学生がたくさん参加してくれました。

時期 / 平成29年10月上旬
参加人数 / 約30名

岳の棚田 有機栽培畑オーナー・果樹オーナー募集!

標高400mにある岳の棚田で、ベテラン農家に教わりながら畑をつくります。有機栽培の野菜は安心して美味しい!棚田の畑からの見晴らしは最高!月1回の共同作業日に、農家さんに教わりながらみんなで作業するので初心者でも安心。もちろん、実った野菜は自由に収穫して持ち帰ることが出来ます。「収穫に行く時間がない」という方には、宅配サービスもあります(着払いでお届けします)。さらに、畑オーナーさんのための田植え・稲刈りも無料で体験できます。また、果樹オーナーも同時募集中です。苗木の植樹から5年間、木のオーナーとして収穫をお楽しみいただけます。年に一度のお楽しみや記念樹としていかがですか?



有機栽培畑オーナー

区画 全25区画/1区画 約15㎡(約5坪)

料金 年間利用料/5,000円

※定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。
※苗・種代は実費をご負担いただきます。各自で用意して頂いても構いません。
※鍬、鎌、移植ゴテなどの農具の貸し出しもごさいます。

年間スケジュール (予定ですので、変更となる場合もあります)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 4月 畑づくり・夏野菜の種まき | 8月 夏野菜収穫・秋野菜の種まき |
| 5月 芋の苗植えつけ | 9月 秋野菜の植えつけ |
| 6月 田植え・夏野菜の植えつけ | 10月 稲刈り・芋ほり・秋野菜の収穫 |
| 7月 草取り・夏野菜収穫 | 11月 秋野菜の収穫 |

夏野菜/ナス、ピーマン、キュウリ、トマト、トウモロコシなど
秋野菜/大根、かぶ、レタス、秋ジャガイモなど

果樹オーナー

種類 栗・ブルーベリー・いちじく

料金 年間管理手数料/2,000円(果樹1本につき)

※苗木はこちらで準備いたします。
※3月に苗木の植樹を行いますので、オーナーに申し込まれた方に別途ご案内いたします。

申し込み・お問合せ先

岳の棚田環境保全協議会

〒849-4153 西松浦郡有田町立部乙2236-1 FAX0955-46-4688

✉agriceramic.arita@gmail.com ご希望の方はお早めにお申し込み下さい



たけ 岳の棚田 西松浦郡有田町岳地区
有田町北西部の標高100mから400mの高地にある岳の棚田は、「日本の棚田百選」に認定されており、約400年前の江戸時代から受け継がれています。20年続く棚田オーナー制度、ほかにもTシャツアート展、休耕田を活用した農業体験などのイベントも開催されています。

Facebookページ「岳の手しごと」をチェック!

農業体験やイベントなどの情報は、主にFacebookページで発信しています。

<https://www.facebook.com/taketanadafarm/>

ぜひ「いいね!」を押して、情報をフォローしていただけると嬉しいです!